

## 拠点内連携により大雨被害状況の迅速な把握

秋田県内では8月から9月にかけて度重なる大雨被害を受けた。県内での大雨被害は4年連続となり、これまでの知見を活かし、統計チームと連携し、被害状況を迅速に把握

### ○ 施策分類

災害  
被害状況の把握

### ○ きっかけ・背景、課題の把握

8～9月の間に6度にわたり大雨となり、県内広域に被害が発生。現地の被害状況把握には、参事官室職員だけでは対応が難しくなっていた。

### ○ 取組の内容

旧被害応急調査のスキルを持った統計チームとも連携し、被災した地域を特定し現地の被害状況を調査。またNOSAIからの被害情報については、統計チームから迅速に参事官室に共有され、本局への報告に繋がった。さらに県内各地（全域）に配置している専門調査員からも、居住地域の状況について情報収集を行った。

### ○ 効果・成果、今後の方向性

迅速・分かりやすく東北農政局（本局）へ被害状況の報告  
支局・本局職員が迅速・的確に画像情報も含め被害状況を把握・共有することで、市町村、関係団体等に対する寄り添った対応の一助となっている。

引き続き情報収集のノウハウを拠点内で共有し、迅速な対応が行えるように体制を整える。

大雨被害発生場所

